

下水道事業業務状況説明書類
(令和4年度上半期)

事業の概況

下水道事業の状況

●公共下水道の整備状況（R4.9.30現在）

区 分	令和4年3月末	令和4年9月末	令和4年度上半期増減
水洗化人口（区域内）	38,183人	38,061人	▲122人
水洗化率（区域内）	87.0%	87.1%	0.1%

※水洗化率は、水洗化人口を供用開始人口で除した数値。

●個別排水処理施設の整備状況（R4.9.30現在）

区 分	令和4年3月末	令和4年9月末	令和4年度上半期増減
設置等基数	97基	99基	2基

※設置等基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含む

工事発注の状況（R4.4～R4.9）

【公共下水道事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
若草町外下水道管路上舗装復旧工事	令和4年4月20日	616,000	菱中建設(株)室蘭支店
汚水柵設置工事その1	令和4年4月20日	1,716,000	(株)小倉組
7 1 2 6 汚水管渠改良工事	令和4年4月27日	11,242,000	(株)小笠原組
汚水管渠新設工事に伴う舗装復旧工事	令和4年4月27日	5,555,000	菱中建設(株)室蘭支店
7 1 2 2 汚水管渠改良工事	令和4年6月16日	10,637,000	北硫建設(株)
汚水柵設置工事その2	令和4年7月14日	409,200	(株)北信建設
汚水柵設置工事その3	令和4年8月4日	1,655,500	(株)北信建設
登別東町汚水管渠改良工事	令和4年8月23日	3,850,000	(株)北信建設
7 1 9 2 雨水管渠新設工事	令和4年9月13日	8,206,000	(株)林田建設

【個別排水処理施設事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理整備費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
合併処理浄化槽設置工事その1	令和4年4月20日	2,090,000	(株)藤田設備工業
合併処理浄化槽設置工事その2	令和4年6月2日	1,573,000	(株)管工設備
合併処理浄化槽設置工事その1（第1回設計変更）	令和4年6月20日	132,000	(株)藤田設備工業

経理の状況

令和4年度 登別市下水道事業貸借対照表
(令和4年9月30日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
1 固定資産		3 固定負債	
(1)有形固定資産		(1)企業建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,303,310,282
イ 土地	887,448,041	企業債合計	14,303,310,282
ロ 建物	984,644,955	固定負債合計	14,303,310,282
減価償却累計額	<u>△ 306,036,959</u>		
ハ 構築物	29,840,898,606	4 流動負債	
減価償却累計額	<u>△ 6,427,822,011</u>	(1)企業建設改良費等の財源に充てるための企業債	624,756,653
ニ 機械及び装置	2,667,129,415	企業債合計	624,756,653
減価償却累計額	<u>△ 1,506,444,004</u>	(2)未払当金	0
ホ 車両運搬具	1,285,200	(3)引当金	0
減価償却累計額	<u>△ 1,005,200</u>	イ 賞与引当金	0
ヘ 工具、器具及び備品	15,550,386	ロ 法定福利費引当金	0
減価償却累計額	<u>△ 14,234,656</u>	(4)預り金	7,781
ト 建設仮勘定	42,148,881	(5)その他流動負債	33,406,589
有形固定資産合計	26,183,562,654	流動負債合計	658,171,023
(2)無形固定資産		5 繰延収益	
イ その他無形固定資産	1,656,000	(1)長期前受金額	12,528,157,555
無形固定資産合計	1,656,000	(2)収益化累計額	<u>△ 3,443,082,954</u>
固定資産合計	26,185,218,654	繰延収益合計	9,085,074,601
2 流動資産		負債合計	24,046,555,906
(1)現金・預金	287,547,721	資 本 の 部	
(2)未収金	109,838,773	6 資 本 金	1,257,514,784
貸倒引当金	<u>△ 11,048,035</u>	7 剰余金	
(3)前払金	8,055,600	(1)資本剰余金	340,627,285
(4)その他流動資産	<u>12,877,887</u>	イ 補助剰余金	340,627,285
流動資産合計	407,271,946	(2)利益剰余金	186,528,070
資 産 合 計	26,592,490,600	ロ 当年度未処分利益剰余金	<u>761,264,555</u>
		利益剰余金合計	947,792,625
		剰余金合計	1,288,419,910
		資 本 合 計	2,545,934,694
		負 債 資 本 合 計	26,592,490,600

※償却累計額及び収益化累計額の計上にあたっては、それぞれ減価償却費、長期前受金戻入について、当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

令和4年度 登別市下水道事業損益計算書
(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

(単位：円)

1	営業	収益			
	(1)	使用料	326,462,836		
	(2)	処埋料金	6,545,536		
	(3)	他会計負担金	0		
	(4)	その他営業収益	<u>90,000</u>	333,098,372	
2	営業	費用			
	(1)	管渠費	7,616,694		
	(2)	処理場費	101,278,651		
	(3)	排水設備促進費	150,000		
	(4)	し尿投入施設運転管理費	352,500		
	(5)	個別排水処理施設管理費	2,254,638		
	(6)	総係費	326,624		
	(7)	職員給与費	20,237,838		
	(8)	減価償却費	472,001,796		
	(9)	資産減耗費用	0		
	(10)	その他営業費用	<u>0</u>	604,218,741	
		営業利益			△ 271,120,369
3	営業	外収益			
	(1)	受取利息及び配当金	2		
	(2)	他会計補助金	715,000,000		
	(3)	長期前受金戻入	191,004,341		
	(4)	その他営業外収益	5,743,375		
	(5)	雑収	<u>71,586</u>	911,819,304	
4	営業	外費用			
	(1)	支払利息及び 企業債取扱諸費	112,698,406		
	(2)	雑支	<u>0</u>	112,698,406	799,120,898
		経常利益			<u>528,000,529</u>
5	特別	利益			
	(1)	過年度損益修正	<u>0</u>	0	
6	特別	損失			
	(1)	固定資産売却	0		
	(2)	減損損失	0		
	(3)	災害による損失	0		
	(4)	過年度損益修正	0		
	(5)	その他特別損失	<u>0</u>	0	0
		当年度純利益			528,000,529
		前年度繰越利益剰余金			105,873,089
		その他の未処分利益			<u>127,390,937</u>
		剰余金変動額			
		当年度未処分利益剰余金			<u><u>761,264,555</u></u>

※減価償却費及び長期前受金戻入は当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

そ の 他

前事業年度の決算の状況

【総括事項】

下水道事業は、今後、施設の更新時期を迎える一方、更なる人口減少や少子高齢化社会の進行により水洗化人口は減少すると予測され、引き続き経営状況を注視していく必要があります。

本年度においては、下水道事業経営戦略を一部修正したほか、ストックマネジメント計画に基づき、施設の効率的な維持管理に資する施設整備事業を重点的に実施するなど、経営の健全化に向けた取組を行いました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、汚水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを着実に実施しました。

イ 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ68,306 m³減少の3,146,341 m³、個別排水処理施設事業で前年度に比べ669 m³増加の17,761 m³となりました。

また、接続戸数（浄化槽設置基数）は、公共下水道事業で前年度に比べ112戸増加の21,217戸、個別排水処理施設事業で前年度に比べ2基増加の97基となりました。

ロ 建設改良事業

管渠建設費においては、常盤町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、汚水管渠については、既設管のたるみが著しい箇所改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、ストックマネジメント計画に基づき、若山浄化センターの自家発電設備更新に伴う建築設備の改築更新を行いました。

【決算の概要】

（収益的収支）

収入は、営業収益7億1,679万8,091円（うち使用料収入6億6,191万7,032円）、営業外収益9億9,873万1,579円の合計17億1,552万9,670円となりました。

これに対し支出は、営業費用13億6,841万888円、営業外費用2億4,075万6,430円、特別損失48万9,263円の合計16億965万6,581円となり、収支差引による当期純利益は1億587万3,089円となりました。

（資本的収支）

収入は、企業債収入5億2,070万円、負担金及び分担金収入3,343万3,490円、補助金収入1億7,638万5,909円の合計7億3,051万9,399円となりました。

これに対し支出は、建設改良費2億1,772万8,188円、企業債償還金12億2,094万6,379円の合計14億3,867万4,567円となり、収支差引による不足額は、7億815万5,168円となりました。

この不足額につきましては、損益勘定留保資金などで補てんしました。